

令和元年度 子供見守り活動 事例集



はじめに

「子供見守り活動」あなたも始めてみませんか？

「子供見守り活動」とは、子供を犯罪や交通事故等から守るためのボランティア活動のことです。現在、都内各地で、町会や自治会、学校・PTA など、有志のボランティアの方々が様々な取組を行っています。

より多くの方々が子供を見守ることにより、事件・事故を未然に防ぎ、子供たちの安全安心と健やかな成長を支えることができます。

本事例集では、これから活動を始めようとしている方や、現在の活動をさらにレベルアップしたい方の手助けのために、多様な活動事例を紹介しています。

子供見守り活動は、地道な取組ですが、
子供の安全にとっても役立っています。
できることを、できるときに無理なく、
楽しく始めてみませんか？



安全安心まちづくりを推進するマスコットキャラクター
みまもりいぬ

取組例

「登下校時の見守り」



「愛犬との散歩時」



「日頃のランニング時」



「花の手入れをしながら」



令和元年度 子供見守り活動事例集

もくじ

世田谷区:「船橋子ども安全ボランティア隊」 ふれあいを通じて、子供たちと家族のような関係を築く	3
福生市:「福生第六小学校かめのごパトロール隊」 さまざまな工夫を通じて保護者全員参加の見守りを実現	4
稲城市:「5000歩の会」 “今日の一步”が地域に安心感とやすらぎを届ける	5
中央区:中央区PTA連合会「ランパト」 PTA会長のつながりから生まれたランニングパトロール	6
足立区:「梅田通町会ワンちゃんながらパトロール隊」 ご近所の愛犬家たちで見守り活動をスタート!!	7
世田谷区:「給田小わんわんパトロール」 学校・地域との好連携が光る「わんわんパトロール」	8
江戸川区:「平井西町会花いっぱい運動」 花を通じて、子供たちの心身を健やかに育む	9
立川市:「多摩運送株式会社」 運送会社ならではの取組を通じて社会に貢献	10
東京都の事業	
・在住外国人による子供の見守り活動事業を始めました!	11
・ランナーによる見守り活動 RUN and SAFETY	12
・わんわんパトロール WALK and SAFETY	12
・家庭で防犯や交通安全を学べる動画 「おしえて、みまもりいぬ! ~あんぜんのために きをつけること~」	13
・大東京防犯ネットワーク	
子供見守りのヒント (過年度の活動事例紹介)	14

船橋小子ども安全ボランティア隊

ふれあいを通じて、
子供たちと家族のような関係を築く

◆活動概要

メンバーは地域の方が中心。お揃いの緑色のウェアを着て、登下校時の見守り活動を精力的に行っています。

毎日同じ場所に立つ方や散歩を兼ねてパトロールをする方など、活動スタイルは人それぞれです。

見守り活動が生活の一部となり、長年にわたって通学路に立ち続けているメンバーも少なくありません。



◆活動内容

自宅近くの道路や交通事故の起きやすいT字路など、メンバー各々が定めたポイントで子供たちの安全を見守っています。定点での見守り活動の醍醐味は、子供たちの成長を肌で感じられるところ。日を追うごとに成長していく子供たちから、たくさんの元気をもらっています。

すれ違う際にハイタッチを交わすなど、子供たちとのふれあいも大切にしています。なかには子供たちと仲良くなり、運動会や学芸会を見に行くメンバーも。おじいちゃん・おばあちゃんと孫のような、優しく温かな関係がここでは育まれています。

◆活動の特色や工夫

船橋小子ども安全ボランティア隊は“顔と顔が見える関係”の構築に力を注いでいます。たとえば、メンバーやPTAの方々が集まる会合を定期的に開催。そこで話し合われた内容は「校外だより」を通じて広く発信されています。

下校時の見守りももちろんですが、一緒に通学路の安全を確認しながら帰ることもあります。年度末には「感謝の会」も行われ、全校生徒が感謝の気持ちを込めて書いた手紙をプレゼントしてくれます。メンバーはこの行事をとっても楽しみにしています。



～活動の成果や喜び、今後の展望など～

街中で緑色のベストを見かける機会も多く、船橋小子ども安全ボランティア隊の認知度は確実に高まっています。子供の安全対策に地域ぐるみで取り組んでいることを広くアピールすることで、より一層の地域の防犯力アップにつながると考えています。

見守り活動をひとつのきっかけに、地域の皆さんが自分に合った活躍の場を見つけ、交流を深め、人生を豊かなものにする——そんな地域コミュニティづくりをめざしています。

代表
尾崎さん

副代表
宮内さん

福生第六小学校かめのごパトロール隊

さまざまな工夫を通じて
保護者全員参加の見守りを実現

◆活動概要

PTAが行っている見守り活動。子供1人につき保護者（成人している家族であれば誰でもOK！）が年1回最低30分のパトロールを行う取組です。地域のボランティアの方々に頼るばかりでなく「子供たちの安全・安心のために保護者のみんなで、できることをしよう」との思いから、この活動はスタートしました。



◆活動内容

各自が担当期間内の都合の良い日時に、専用のベストを着て、徒歩または自転車で自宅周辺等の担当区域をパトロール。登下校中の子供たちに対して積極的に声をかけ、事故のないように注意を促します。

パトロール終了後の「かめパト実施記録表」への記入も大切な仕事のひとつです。この記録表には、担当者氏名やコース・時間帯などに加えて、パトロール中に気づいた点もしっかり記入します。記入された内容は2か月ごとにまとめられ、保護者に発信・情報共有されています。



◆活動の特色や工夫

活動時に着用する緑色のベストは普段学校に置いてあるのでパトロールの予定に合わせて子供が持ち帰ることもできます。そうすることで保護者が学校まで取りに行く時間と手間が省け、「自宅からパトロールを開始できるので助かる」と好評です。

また、子供からベストを直接手渡されることでモチベーションも高まり、より前向きな姿勢でパトロールに臨むことができるという効果も生まれています。



～活動の成果や喜び、今後の展望など～

パトロールを通じて子供たちとの会話やふれあいが増えたことで、この地域が以前よりも明るくなったように感じています。活動を開始して以降、大きな事故や事件が発生していないことが何よりの成果です。

活動内容や方法を継続的にブラッシュアップしていくことで、パトロール隊の活動を今以上に参加しやすく爽りあるものにしていきたいと思っています。

「普段お世話になっている学校や地域に恩返しをしたい」という気持ちでパトロールに取り組んでいます。子供たちが明るく元気に過ごすための手助けとなれば幸いです。



PTA会長
松田さん

稲城市 5000歩の会

今日の「一歩」が地域に
安心感とやすらぎを届ける

◆活動概要

2006年3月6日に発足して以来、13年間、こつこつ活動を続けてきました。メンバーは、「若葉台ワルツの杜」マンションに住む60代～90代の方々です。

月～金曜日の下校時に合わせて集合し、参加者全員で近くの小中学校周辺を散歩します。1周歩くと約4キロ、5000歩になるので、「5000歩の会」と名づけられました。



◆活動内容

「5000歩の会」は①防犯パトロール②あいさつ運動③高齢者の健康づくりの3つの目的を掲げています。稲城市役所から提供された「地域安全パトロール」のたすきとネームプレートを着用し、下校中の小・中学生と大きな声であいさつを交わしながらパトロールを実施。歩くことで健康を維持する効果もあります。散歩中のおしゃべりも参加者の楽しみになっています。

また、活動当初から、活動実施日には必ず「パトロール記録」をつけています。内容は「〇月〇日、晴れ、参加者6人、子供たちが元気にあいさつをしてくれた」など、日々の記録と感想。13年にわたる記録が残っています。



◆活動の特色や工夫

「5000歩の会」のモットーは「頑張らないように頑張ろう」。

曜日ごとの責任者2人はあらかじめ決めていますが、その他のメンバーは自由参加です。無理のないペースで、自分たちの健康管理に気をつけながら、自然体で子供たちの安全を見守っています。

～活動の成果や喜び、今後の展望など～

13年以上に及ぶ活動の中で印象的なのは、子供たちや保護者からの挨拶が増えたこと。地域の安全とともに、「あいさつできる関係」が根付いてきたことに喜びを感じます。これからもメンバーを増やしながら、「頑張らないように頑張ろう」をモットーに頑張っていきたいですね。



活動開始時からのメンバー
関根さん

中央区PTA連合会「ランパト」

PTA会長のつながりから
生まれたランニングパトロール

◆活動概要

「ランパト」は「ランニングパトロール」の略です。子供や周囲の様子を気かけながらランニングすることで、普段のランニングが防犯パトロールになる取組です。

中央区PTA連合会のランパト事業は、3年前に当時連合会会長だった岩田さんが提案し、その後、山口さん、渡辺さん、坂間さんと歴代会長が中心となって、引き継がれ、行われています。

2018年7月に京橋築地小学校で行われた出走式では、区内の各PTAから約100名の方々や区内の各警察署の方々が参加しました。



◆活動内容

会長会の後などに揃ってランパトを行うこともありますが、基本的には各自がそれぞれ自分のペースで行っています。曜日や時間の決まりはなく、中央区PTA連合会オリジナルのランパト用ビブスを着ていれば、中央区内のどこをランニングしてもOK。無理のない範囲で取り組むことができます。

共働きの家庭が増え、子供たちの下校時間帯の見守り活動が難しい保護者も増えています。仕事が終わった夕方から夜にランニングをする保護者も多いのですが、こうしたランパトは、塾や習い事等で遅い時間に外出する子供たちの安全見守りに役立っています。

◆活動の特色や工夫

メンバーはおそろいのビブスを着用。元PTA会員の方がデザインしてくれました。パトロールをしていることが一目でわかるよう、ビブスの前後には「ランニングパトロールしています」の文字とマスコットの「ランパト」がプリントされ、蛍光色で安全性にも優れています。



～活動の成果や喜び、今後の展望など～

ランパトの活動が少しずつ広がってきて、保護者同士の交流が生まれたり、小学校単位の行事になったりしているのが嬉しいです。

PTA連合会を中心として、中央区全体に防犯意識や安全対策が広がっていくといいですね。

これからも、健康を推進しながら子どもたちの安全を見守ってまいります。

代表
坂間さん

梅田通町会ワンちゃんながらパトロール隊

近所の愛犬家たちで
見守り活動をスタート!!

◆活動概要

子供たちが被害にあう事件や事故に胸を痛めた梅田通町会副会長の小笠原さんが、「自分たちに何かできることはないか」と西新井警察署に相談したのが始まりです。

「ワンちゃんの散歩をしながら防犯パトロールをしてみませんか？」というチラシを作り、近所でワンちゃんの散歩をしている方々に声をかけチラシを手渡しする等、見守り活動への参加を地道に呼びかけました。

小笠原さんが呼びかけを始めて5か月、有志が集まり、2019年3月「ワンちゃんながらパトロール隊」が結成され、子供の見守り活動が始まりました。



◆活動内容

普段は各自で愛犬と散歩をしながら、通学路等で子供たちの安全を見守っています。

メインとなるのは子供たちの下校時間帯ですが、基本的に実施時間は自由です。全国交通安全運動の期間などに、集まって活動することもあります。

2019年12月時点で16匹のワンちゃんが登録しています。パトロール中に動物好きの子供たちとふれ合うことも、メンバーの楽しみのひとつです。



◆活動の特色や工夫

ワンちゃんたちは西新井警察署から提供されたお揃いのエプロンをつけているので、パトロールをしていることが一目瞭然。地域の皆さんに「ワンちゃんながらパトロール隊」のことを知ってもらえるよいアイテムになっています。

メンバーは地域の方々とも顔なじみが多く、子供たちだけではなく、大人同士も声をかけあうことができます。

～活動の成果や喜び、今後の展望など～

犬を連れていくことで子供たちや地域の方々とのふれあいの機会も増え、交流が深まるなど、良い効果があります。あえて活動時間を決めないことで、「楽しく・長く」活動を続けていきたいと考えています。

そして、子供たちの見守りにとどまらず、高齢者の見守りや、まち全体の防犯へも活動の輪を広げていきたいと思っています。

梅田地区にお住まいのみなさん、ワンちゃんと一緒に私たちと活動しませんか、大切な子供たちやまちの安全を見守っていきましょう。



代表
小笠原さん

きゅうでん 給田小わんわんパトロール

学校・地域との好連携が光る
「わんわんパトロール」

◆活動概要

愛犬と散歩しながら、子供たちの登下校を見守る「わんわんパトロール（わんパト）」を実施しています。30名ほどの有志で始めた給田小学区での見守り活動は15年目を迎えます。現在登録している隊員（わんちゃん）は136匹。毎年20匹前後の隊員が新たに加わり、息の長い活動を続けています。



◆活動内容

決まった時間・場所に集まってみんなで散歩するのではなく、各自がいつも通り愛犬と散歩をしながら、登下校途中の子供たちを見守ります。唯一の決まり事は「お揃いのバンダナを身につけること」。誰でも負担なく気軽に参加することができます。

年に1回『給田小わんわんパトロール便り』を発行しています。内容は隊員や活動内容の紹介等。見て楽しく・読んで為になるこのニュースレターは、給田小の保護者等にも配布され、わんパトと、学校・保護者、地域をつなぐ絶好のコミュニケーションツールにもなっています。



◆活動の特色や工夫

隊員が身につけるお揃いのバンダナや隊員募集のポスターは、給田小の子供たちの手作りです。

また、全校朝会で「わんパト」の活動や隊員を紹介したり、授業の一環として子供たちと隊員との交流を行う等、先生方の理解と協力を得て、学校と良い関係を築いています。

活動のベースを小学校に置き、学校・地域の良い関係が築けたことも、息の長い活動の秘訣です。



～活動の成果や喜び、今後の展望など～

15年の活動の間に、かつて給田小学校に通っていた子供が親世代になり、今度は「見守る」側として活動に参加するといった好循環も生まれています。

わんちゃんとの散歩を通して社会に貢献することができ、かつ、子供たちと地域の方との交流が自然に生まれるのが「わんわんパトロール」の魅力。今以上に隊員を増やし、「わんパト」活動の輪を広げていけたら嬉しいです。



このロゴも
給田小卒業生の作

代表
清水さん

平井西町会花いっぱい運動

花を通じて、
子供たちの心身を健やかに育む

◆活動概要

平井西町会は、花の手入れをしながら登下校風景を見守る「花いっぱい運動」をはじめ、始業前の校庭や交通量の多い通学路における見守りなど、子供たちの安全・安心を守る活動を行っています。

なかでも、「花いっぱい運動」は、先進的な好事例として、江戸川区内の他の町会にも広まりつつあります。



◆活動内容

春と秋に1回、参加を希望する町内の300世帯に花苗を配布。参加者は玄関先や通学路で花の手入れをしながら子供たちを見守り、あいさつを交わします。

子供たちは季節ごとに咲くさまざまな花を通じて四季を感じ、優しい心を育みます。

「花いっぱい運動」は元々は景観美化の観点から始まった活動ですが、花の手入れを通じて近隣同士、または住民と子供たちとのコミュニケーションが自然に生まれるなど、地域力の向上にも一役買っています。



◆活動の特色や工夫

平井西町会では、小学校の始業前に「あそび」の見守りも行っています。ユニークなのは、校庭で遊ぶ子供たちをそばで見ているだけでなく、一緒になって遊ぶところ。

ふれあいが絶えないからこそ子供たちはもちろん、参加するメンバーもみな満面の笑顔です。

「始業前に安全に元気に遊ぶことで、いきいきと勉強を始めることができる」と校長先生からも大変好評です。

～活動の成果や喜び、今後の展望など～

活動を通じて地域の方同士がより身近な関係になることで、子供たちの見守りだけにとどまらず、さまざまな犯罪の防止や災害時の助け合いなどにもつながっています。

見守り活動は、立ち上げることに以上続けることの方が大変だと実感しています。地域の宝である子供たちを、これからも安全に見守り育てていくには、地域みんなの力が必要だと思います。この事例集を通じて、私たちの活動を広く知っていただき、ひとりでも多くの方に参加してもらえたら嬉しいです。

会長
松浦さん

立川市 多摩運送株式会社

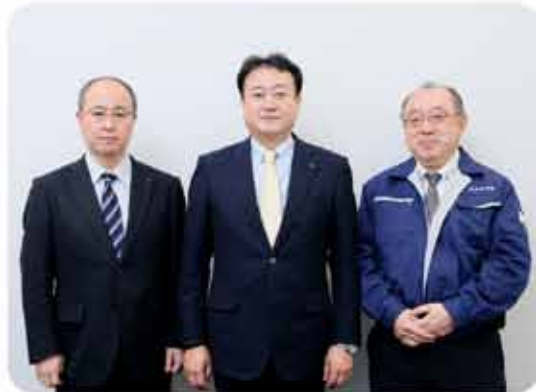
運送会社ならではの
取組を通じて社会に貢献

◆活動概要

多摩運送株式会社は30年もの長きにわたり子供の見守り活動を行っています。

「地域の安心・安全に貢献することは、公共の道路を利用している会社の責務である」

多摩運送株式会社ではこうした考えが社員に広く浸透しており、「特別」ではなく「当然」のこととして、朝の見守り活動ならびに各種安全教室に取り組んでいます。



◆活動内容

毎週金曜日と毎月10日、そして始業式や終業式などの特別な日を中心に、本社のそばにある新生小学校前の交差点で朝の見守り活動を行っています。本社勤務の全社員が2人1組となり当番制で担当。交差点に進入する車や自転車に旗を掲げて注意を促しながら、子供たちが安全に横断できるように見守っています。

活動時にはお揃いの黄色いベストを着用しています。目立つ格好をすることで、ドライバーに対する注意喚起や防犯効果の向上を図っています。

◆活動の特色や工夫

学校、警察、交通安全協会と共同で行っている交通安全教室では、校庭に交差点を再現し、多摩運送のトラックを実際に走らせています。ブレーキをかけてから停止するまでの距離やカーブを曲がる際の内輪差、そして衝突事故の衝撃の大きさなどを、子供たちに間近で感じてもらうことが狙いです。また、PTA主催の自転車教室にもトラックの提供を通じて協力しています。

このように多摩運送は、朝の見守り活動に加え、子供たちの交通安全教育にも広く携わっています。



～活動の成果や喜び、今後の展望など～

年に1回、新生小学校の子供たちから寄せ書きをいただいています。始業時間前に出社しての見守り活動ですが、子供たちの感謝の言葉が励みになっています。

一口に通学路と言っても、その環境は地域によって異なります。学校などと相談して、特に危険な場所で見守り活動を行うのが大切だと思います。

私たちの活動が子供たちの安全意識の向上につながれば幸いです。子供たちには、通学路だけでなく他の場所でも交通ルールを守って事故なく安全に過ごしてほしいと思います。

安全品質管理グループ
萩原さん

在住外国人による子供の見守り活動事業を始めました！

都内の在住外国人は、平成31年4月時点で約55万人と年々増加傾向にあり、その子供たちも増えています。

「地域の安全」を考える上で、在住外国人も地域社会を構成する一員として協力してもらう必要があります。

そこで新たに、東京都では、外国人が多く集まる外国人コミュニティ等と連携した子供の見守り活動をスタートさせ、子供たちの安全を確保するとともに、在住外国人等の防犯意識を高め、地域における防犯力の底上げにつなげていく取組を始めました。

第1弾 江戸川区内のインド人の方による子供の見守り活動

江戸川区には5,000人近いインド人の方が住んでいます。家族で住んでいる方も多いことから、子供の見守り活動への協力を呼びかけました。令和元年10月に2回実施した説明会、11月に開催されたインドのお祭り「東京ディワリフェスタ西葛西」にて、参加者を募集し、11月から見守り活動を始めました。

11月時点で、100人以上の方が参加し、子供たちの下校時を含む午後3時から午後6時の時間帯に合わせ、買い物や犬の散歩の時など、それぞれのスタイルで子供の見守り活動を実施しています。

インド人の方からは「地域の安全に貢献できる良い機会になります」という声があがっています。



東京都の具体的な取組

東京都は、外国人による子供見守り活動の企画、参加者の募集、地元自治体や警察署などとの調整、活動時に身につける「アームバンド」の提供などを行っています。



今後の展望

東京都では、在住外国人等による子供の見守り活動を都内全域に広めることで、多文化共生を推進しながら、安全・安心な東京を実現していきます。



～東京都の事業～

東京都では、子供の安全対策のひとつとして、普段の生活の中で無理なくできる見守り活動「ランナーによる見守り活動」と「わんわんパトロール」の普及啓発に取り組んでいます。

ランナーによる見守り活動 RUN and SAFETY

～ランニングしながら、子供やまちの見守りを！

「ランナーによる見守り活動」は、ランニングのときに、子供たちやまちの様子に気がつけていただくボランティア活動です。

「ランナーによる見守り活動」にご協力いただける方々にランニング用LEDアームバンドを配布しています！



詳しくは「大東京防犯ネットワーク」の「RUNandSAFETY」を見てね！

大東京防犯ネットワーク 検索



わんわんパトロール WALK and SAFETY

～愛犬といつものお散歩をしながら、子供やまちの見守りを！

「わんわんパトロール」は、愛犬とのお散歩のときに、子供たちやまちの様子に気を配りながら歩いていただくボランティア活動です。

区市町村などの自治体や町会等でわんわんパトロールを実施しているところもあります。

詳しくは「大東京防犯ネットワーク」の「わんわんパトロール」をご覧ください。

大東京防犯ネットワーク 検索



.....
どちらの活動も、一人でも・仲間と一緒にでも、気軽に取り組みます。

子供やまちを見守る人が増えることが、地域の防犯力アップにつながります。私たちが暮らす地域の安全安心のため、できるときに、できることを楽しみながら「子供やまちの見守り」始めてみませんか？

家庭で防犯や交通安全を学べる動画
「おしえて、みまもりいぬ! ～あんぜんのために きをつけること～」

小学生になると子供自身の行動範囲が広がるため、防犯や交通安全に関する知識が必要になります。東京都では、子供が楽しめるよう、「みまもりいぬ」の人形が登場し、クイズに答えながらストーリーが展開していく、家庭で学べる動画を制作しました。

視聴方法

東京都公式動画チャンネル「東京動画」にてご視聴ください。
インターネットに接続していれば、スマートフォン・PC・タブレット等でご覧いただけます。
URL:<https://tokyodouga.jp/>



大人にもタメになるよ!
家族で一緒に見てね!

動画内容

主人公は、小学1年生のアンちゃんとシンくん。
5つのストーリーで構成されています。

- ① 道路はどうやって渡る!? ② どんな人に気をつける!?
- ③ どんなことが危ないの!? ④ どうやって自分を守る!?
- ⑤ 安心安全なまち



「保護者と子供用」「こどもよう」の2つのバージョンがあります。

大東京防犯ネットワーク

東京都都民安全推進本部では、防犯ボランティアを応援するポータルサイト「大東京防犯ネットワーク」を運営しています。ぜひご覧ください!

大東京防犯ネットワーク
(URL)<https://www.bouhan.metro.tokyo.lg.jp/>



- ① 子供の安全マップ
- ② 特殊詐欺マップ
- ③ 町丁字別犯罪情報マップ
- ④ 防犯団体活動情報マップ
- ⑤ 施策情報マップ
- ⑥ 放置自転車マップ

【子供の安全マップ】

子供に関する事件・事故の情報がマップに表示されます。
交通事故の発生地点や不審な声掛け件数を町丁字別色分けマップで表示します。



- ▲ 子供 (13歳未満) の交通事故発生地点
- ▲ 13歳以上の交通事故発生地点

都や区市町村の情報、
防犯ボランティアの活動、
活動の手引きなどを紹介

地域をクリックすると
子供への不審な声かけ情報が表示

子供見守りのヒント (過年度の活動事例紹介)

日頃の活動の参考としてください。

過年度の子供見守り活動事例集は「大東京防犯ネットワーク」でご覧いただけます。

活動の活性化

活動継続や仲間づくりの工夫

- 馬橋ご近所付き合い広目隊 (23年度・p22～23)
- 高井戸東地区防犯パトロール隊 (24年度・p8～9)
- 和泉ピースプラスワン (24年度・p22～23)
- 明大前ピースメーカーズ (25年度・p22～23)

わんわんパトロール

犬の散歩をしながら子供の見守り

- 牛込ワンワンパトロール (24年度・p10～11)

小学生との連携

小学生と円滑に連携した取組

- 山王町会防犯パトロール隊 (26年度・p9～14)
- 聖ヶ丘子ども・おとしより見守り隊 (26年度・p17～18)

事業者の防犯活動

地域社会の一員としての防犯活動

- 東京都信用金庫協会 セブン-イレブン・ジャパン (28年度・p9～10)
- 日野自動車株式会社 (28年度・p11～12)
- スーパーオートバックス東京ベイ東雲 (28年度・p17～18)
- 株式会社 五洲管財 (29年度・p17～18)
- JS日本総合住生活株式会社 (30年度・p10)

子供の居場所づくり

世代間交流を活かした居場所づくりの取組

- “がきんちよ”ファミリー (24年度・p14～15)
- 下北沢・コーデ騎士団 (25年度・p14～15)
- リング・リンクくにたち (30年度・p9)

ランニングパトロール

ランニングしながら子供の見守り

- パトラン (29年度・p7～8)
- 都立練馬工業高校サッカー部 (30年度・p11)

花植え活動

植栽を通じた子供の見守り

- 畑地区前通り町会 (25年度・p6～7)
- 羽ヶ田町内会 (28年度・p3～4)
- 旭町二丁目町内会 (29年度・p13～14)

子供110番の家等への駆け込み体験

子供の危機回遊能力を高める取組

- 学園東町・子ども見守り隊 (25年度・p8～9)
- セイフティ・ハロウィン実行委員会 (26年度・p7～8)

登下校時の見守り

ユニークな見守り活動

- 和田三丁目西町会 (24年度・p12～13)
- 上ノ原まちづくりの会 (26年度・p15～16)
- 南秋留小学校児童見守りサポーター (30年度・p3)
- 西新宿小学校守ってあげ隊(30年度・p8)

学生ボランティア

若い力による子供の見守り

- 明治薬科大学マナーアップ委員会 (26年度・p21～22)
- 日本女子体育大学 学友会 (27年度・p17～20)
- 明星大学防犯ボランティア隊 MCAT (28年度・p19～20)
- 跡見学園女子大学学生寮『あとパト ガールズ』 (28年度・p11～12)

危険箇所の点検・改善

子供が安全安心に暮らせる地域づくり

- 南白糸台小学校とその児童・PTA・自治会 (26年度・p11～12)
- 子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会 (28年度・p5～6)

地域団体との連携

行事を通じて顔見知りを増やす取組

- 四谷地区青少年育成委員会 (23年度・p8～9)
- 子ども見守りチャレンジ事業実行委員会 (24年度・p6～7)
- 大北小地域のあんしんを守る会(30年度・p5)

子供たちの
安全を見守る

「子供見守り活動」

子供たちの
成長を喜ぶ

あなたも始めてみませんか？



令和元年度 子供見守り活動事例集 令和2年3月発行

編集・発行 東京都 都民安全推進本部 総合推進部 都民安全推進課

〒163-8001

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 第一本庁舎北塔34階

電話 03-5388-2281

ホームページ <https://www.bouhan.metro.tokyo.lg.jp/>

登録番号 (31) 59

リサイクル選性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

R70

石油系溶剤を
含まないインキを
使用しています。

大東京防犯ネットワーク 検閲